

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん揚げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束についての知識が不十分である。	職員各々が身体拘束について、知識を理解し、実践できるようにする。	施設内研修の中に身体拘束についての研修を織り込み、研修後はしっかりと取り組んでいけるように会議等でも確認を行っていく。	3ヶ月
2	35	避難訓練において職員が他フロアの避難経路等の理解が出来ていない。	自フロアだけでなく、他フロアの避難経路、消火設備等の場所の把握を行う。	スタッフ会議等において、定期的に他フロアの避難経路、消火設備等の確認、訓練を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					
5					

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん揚げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一人一人の職員が身体拘束についての基準や知識を理解しきれていない。	一人一人の職員が身体拘束について、基準や知識を理解し、実践できるようになる。	身体拘束についての内部研修を毎年開催し、基準や知識を高めていく。	3ヶ月
2	36	ポータブルトイレやパット類が目につく場所に置いてあり、プライバシーの確保が不十分である。	一人一人の入居者様の羞恥心や尊厳を重視し、プライバシーの確保が出来るようになる。	使用していない時間のポータブルトイレの収納、パット類の目隠しなどを実践していく。	2ヶ月
3	10	苦情や要望に対して解決する組織がない。	苦情や要望に対する法人としての組織を設置し、解決できるようになる。	外部(民生委員)を交えた苦情解決委員会を設置し、定期的な開催をしていく。	6ヶ月
4					
5					